

“わ”情報ぎやらくー

TEL(078)743-8101

FAX(078)743-8103

神戸市シルバーカレッジ 社会還元センター

グループ“わ”情報誌編集部

「人形紙芝居と昔遊びで子供とあそぶ」—ボランティア考—

生活文化部員 濱岡吉孝(福祉四期)

昨年の今頃、標記のテーマで9名の仲間(卒論研究グループ)と共に、昔遊びの玩具、人形や紙芝居の製作、劇の練習、実施場所の交渉に多忙を極めていました。少々ハードでしたが懐かしく昨日のように思い出されます。

このテーマは核家族化が定着し、少子化が進行するなか、第一世代(我々世代)と第三世代(孫世代)間に断絶が起こっていること、第三世代に対する社会の教育力が著しく低下していること、このような現象下、我々が孫世代に一步でも二歩でも近付くことができないか、子供達に何かしてあげられないかという児童福祉の切り口から発想されたものでした。

製作活動、練習等の準備に多くの日時と労力をかけ、11月24日、市立西舞子学童保育所(小学校1~3年35名)、11月29日、市立北須磨小学校(1年65名)で「人形紙芝居こぶとり」を公演し、そのあと、「昔遊び(折り紙、あやとり、お手玉、けん玉、紙飛行機、ブンブンごま)で子供達と半日たっぷり遊びました。子供達の生き生きと明るく可愛い顔々、今も臉に焼きついていきます。

後日、両所の子供78名が「昔遊び楽しかったよ。ほかの遊びも教えてね。人形紙芝居面白かったよ。また一緒に給食たべようね。きっと、また来てね。…」等、幼いたどたどしい文字と文章

で精一杯の思いを礼状として送ってくれました。「老と幼の心の琴線を共鳴させる」というテーマの願いが達成された証として、今も大切に保存しています。

更に、この実践活動を通して

- ① 童心に帰って人形紙芝居を演じ、昔遊びで子供と夢中で遊べたため、子供達から若さと活力という大きなプレゼントを贈られたこと
 - ② 「今の子は・・・」とよく言われるが、好奇心旺盛、素直で明るく屈託がなく、遊ぶこと大好き、おじいちゃん、おばあちゃん大好き等、本質的には全く昔の子供と同じと言う認識を実感したこと
 - ③ 準備から実施への4ヶ月、一連のグループ活動から、計画と調整を大切に、各人の特性を互いに尊重し力を出し合って協働すれば大きな仕事ができることを体験したこと
- 等、数々の有意義な経験をさせて戴きました。

従前ボランティア活動を報酬を期待せず参加する奉仕活動で、それを受ける側への一方的な営みと平板な促え方をしていましたが、この実践活動から、「ボランティア自身が多くを学び、自分自身をも成長させる深い意味を湛えた営み」であることを教えられました。

今、この実践で協働した仲間は、学んだことを胸に「わ」のAB、C、などの部会に属し、それぞれの持ち味を発揮しながら、昔遊び、昔のくらし、人形劇、手品、子育て講演・相談などで活躍しています。

紙芝居と昔遊び……………1	ローンボウルス大会優勝……………7
1000人のゴスペル大合唱……………2	コーロKSCの初リサイタル……………8
What's Gospel?……………3	“わ”の新しいグループ紹介……………9
障害児の送迎ボランティア……………4	カレッジ施設使用の事前届出……………10
観月会を通じ人間愛……………5	“わ”の物品貸出し要領……………11
ローンボウルス大会に参加……………6	“わ”事務局からのお知らせ……………12

翔け！ 未来へ

1000人のゴスペル大合唱

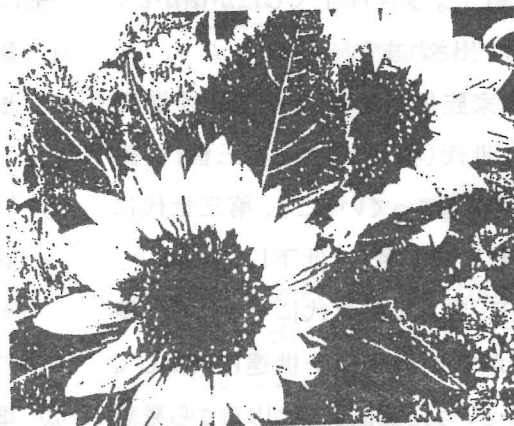
Our City KOBE

—集まれ！ しあわせの村へ！—

OH HAPPY DAY

DEEVEERER (帰れ！わが家へ！)

Wish for this little light of mine (ほろ)



とき 2001年1月20日〔土〕15:00 開演・入場無料

ところ しあわせの村 神戸市シルバーカレッジホール

公演 KOBE Mass Choir 指揮 川上 盾

12:00～ “天使にラブソングを・Ⅱ” を2階教室でビデオ上映

主 催：神戸市シルバーカレッジ社会還元センター グループ “わ”

特別協力：こうべ市民福祉振興協会・神戸市シルバーカレッジ

KOBE Mass Choir

ひと・まち・みらい

KOBE 2001

神戸 21世紀・復興記念事業 2001.1.17～9.30

What's Gospel?

◇ゴスペルの意味とは？

ゴスペルの語源は「GOD」と「SPELL」という言葉が、
合わさって「GOSPEL」という言葉ができました。

◇日本語に訳すと？

福音＝良い知らせ(Good News)と訳せます。

キリストの誕生が「Good News」、その「Good News」を伝えるために
歌われるものがゴスペル・ミュージックです。簡単に言うとゴスペルとはキ
リスト教の賛美歌のことです。

一般的にゴスペルと聞くと、アフロ・アメリカン(アフリカ系アメリカ人)が
演奏している場面を想像しますね？それもそのはず、ゴスペルの発祥
はアフロ・アメリカン達の歴史と切っても切り離すことができません。
《ゴスペル》とは、アフロ・アメリカンの苦難の歴史の中から生まれた、
「祈りのうた」です。長い奴隷制度の苦しみ・差別などの苦しみ。人々
は、それでも教会で神に祈り歌うことを通して「生きる意志」を育ててき
ました。やがてその中からキング牧師などによる公民権運動(黒人解
放運動)が発生していきます。
ゴスペルとはこのような歴史を持つ、限りなくパワーを秘めた音楽です。



KOBE Mass Choir (神戸マス・クワイア) プロフィール

1998年3月結成。日本基督教団東神戸教会を拠点とする
ゴスペル・クワイア。ゴスペルを歌い継いできたアフロ・ア
メリカンの人たちの歴史への理解と、彼らの信仰心に対する
敬意を持ちながら、精神性を大切にしたい演奏を目指している。
発足当初は15名だったメンバーも、現在は80名の大所帯と
なり、年齢構成も10代から60代までと幅広いのが特徴。
2001年夏には、ニューヨーク・ハーレム公演を予定して
いる。

知的障害児のお迎えボランティア

児玉 浄（生環1期）

平成12年4月に西区ボランティアセンターから、西区学園東町在住の小学校1年の知的障害児を小学校へ迎えに行き、地域の児童館への送り届け、家族が迎えにくるまで、見守るというボランティア要請がありました。初めはうまくできるかなと不安でしたが、学園東町・学園西町の“わ”のメンバーは1～4期で10名余りあり、何名かの人に電話でボランティアの打診をしたところ、やってもよいという返事で、引き受けることに致しました。最終的には1期4名、4期1名の5名で、週2回、なれるまでは2名ずつの当番をきめて、4月下旬より始めました。

小学校から児童館までの1km足らずを歩くのに途中で犬や兎と遊んだり、よその家の呼び鈴を押したり、道草をして1時間位かかったこともあります。一度などは、スーパーの中に迷い込んで見失ったこともあり、1人では難しいと思い、その後もずっと2名ずつでやっております。こちらのいうこともなかなか通じず、相手の言うことも分かりにくいのが難しい点ですが、最近は馴れてきたせいか、多少は意思疎通ができるようになってきました。なかなか思うように歩いてくれないので、最初うちはおんぶをしたせいか、すぐにおんぶをねだるようになりました。今は軽いのでおんぶもそんなに苦痛ではありませんが、身体が大きくなってくると大変ですので、なるべく歩かせるようにしたいと思っています。回を重ねる毎に互いに親しみもでて、おんぶされてご機嫌で歌を歌って、体重を預けてきたときには、一層可愛さを感じます。母親が迎えにきて、別れ際ににっこり笑って“バイバイ”をしてくれると疲れがいっぺんに吹き飛ぶ感じです。

2学期からは毎週火曜日になり、5名のうち1名が火曜日が都合悪く、4名で2名ずつ交代でやっております。もう少し人数が増えれば当番の調整もやりやすくなりますので、学園都市の近くにお住まいの“わ”のメンバーでボランティアをしてもよいという方があれば児玉（生環1期……電話078-795-1745）へご連絡下さいますようお願い致します。

観月会を通じ人間愛の尊さを思う

西区委員 山口 勝視（福祉2期）

前任者の児玉氏から“観月会に行かないか”と誘われて同行した。それは 10 月 11 日、18 時から県立リハビリテーションセンター救護施設「のぞみの家」で、広い構内の一角に紅白の幕が張られた急造の舞台を中心に 400 名近い観客が詰めかけていた。舞台の片隅に季節を彩る草花が見事に活けられて、名月の光と共に注目された。

今回の主眼は観月に因(ちな)んで、平素協力関係にある近隣の各種団体そして、ボランティアの方々への謝恩と救護施設利用者達の慰安であった様に想えた。(感謝状を受ける山西省三氏)



セレモニーの後、本番に入り、“わ”の会員である、山西省三、大垣秀男、そして当日欠席の松田伍夫の三氏に対し感謝状が贈呈され観客の拍手を浴びた。

後日、施設関係職員から、施設の利用者は毎週の指導サービスを待ちこがれておりますとの言葉を耳にし、改めて善意の指導サービスの尊さを痛感する。一般的に娯楽サービスの華やかさはないけれど極めて地味ではあるが、真心のこもったサービスは線香花火のように消え去るものでなく、いつまでも心の底に残るのではないか。即ち、手塩にかけ育てる野菜作りの楽しさを味わう喜び、苦勞して作成した陶芸品を手にした満足感、更には、各作業の過程で指導者と交わす対話を通じ親密な人間関係が彼らに生甲斐を、指導者は遣り甲斐が夫々双方に芽生え永続したのだろう。これは尊く美しく、素晴らしい人間愛の結晶ではないだろうか。

尚、当夜最後の出演として救護施設の利用者によるコーラスの披露は聴く者の胸を熱くしたが、彼らは歌う喜びを味わいながら、さも満足な表情が目に映り、これで観月会の幕は閉じられ、センター所長はじめ職員の方々の更なる活躍を念じ煌煌と輝く名月に送られ会場を後にした。



(前列の男性…左から)
(熱弁の児玉、山西、大垣の各氏、および筆者)

ローンボウルス大会に参加して

ひよどり台 山野 千鶴子

10月初旬 SC 社会還元センター（グループ“わ”）より、11月11日〔土〕にローンボウルス大会を開催するので、地域の高齢者と交流し、その普及を図りたいとの趣旨で、地元からチームを出して欲しいと要請がありました。ひよどり台クラブ（老人会）を主体にチームを編成したいがどうでしょうかと金川会長より相談がありこれに賛同。全く経験が無い人ばかりでグランドゴルフ部を中心に5チームを編成し申込みしました。

11月3日、未経験者のための練習日が設けられ当日十数名で参加しました。はじめに競技の進め方・ルール・ボールの握り方・転がし方など説明を受け、各人が代わり合ってボールを転がしました。球の左右の重さが異なるので、なかなか思ったところに転がって行きません。一回だけの練習ではと大会前にリンクの予約を取り練習をしました。さすがに運動神経の発達した人は、前回とは見違えるほどの進歩で勘の鈍い私は感心するばかりでした。

いよいよ当日、開会式に続き私たち5組は1回戦に出場。試合はトーナメント方式、1回戦敗退チームは敗者復活戦でもう一度勝ち残りのチャンスが与えられます。

9時すぎ、プレー開始。わがチームの対戦相手は、生涯スポーツクラブのベテランで一方的に点を取られ敢え無く敗退。5チームのうち堂浦・芹生・高見組が2回戦に進出しましたが惜しくも敗れました。

わがチームの敗者復活戦の相手は、何と、ひよどり台の松浦チーム！ 同士討ちとなりましたがまたも完敗。最後まで残っていた富澤・谷部・下山チームがコンソレーション優勝をかけて戦うのを応援することになりました。相手は神大学生チームです。若い上に運動神経が鋭く、やるほどに凄いいカーブの球がではじめる。最初は互角に戦って行けましたが、残念ながら最後は圧倒されてしまいました。

試合には勝てなかったがお天気も良く、緑の芝生の上でのプレーは勝敗を越えて楽しく、機会があればまた参加したいと思っています。

これからも練習を重ねて腕を磨き、お誘いを一同心待ちにしています。有難うございました。



ローンボウルス大会優勝

ー私のローンボウルスとの出会いー

北谷 英倫（ひでのり）（国際3年）

1966年8月、仕事の関係先オセアニアでローンボウルスを知った。ブリスベンでの週末、芝生のリンク上でソフトボール大の重心が変形した球を目標球ジャックへ向けて転がすスポーツがそれであり、熟年層に最適であり、オーストラリア・ニュージーランドではポピュラーなスポーツで、クラブも沢山ある…と記憶している。それ以来機会があれば一度は経験してみたいと頭の片隅にあった。

ー昨年SCに入学、しあわせの村スポーツ施設にローンボウルス場があるのを知ったので是非やってみたいと思っていた。SC生涯スポーツクラブにこの種目を発見、早速参加。1998年の「第1回SLSローンボウルス大会」にクラスメートと出場した。これが私とローンボウルスとの再会であった。熟年から始めたスポーツであり、それ以来、月に2回の練習日には出来るだけ参加を心掛けている。村の自然芝生リンクは季節によって芝の状態が微妙に異なる。これがかえてこのスポーツの魅力を深めるように思った。

本年度の『第17回日本ローンボウルス選手権大会2000』にSLSスポーツクラブから「ミックスペアーズチーム」・「男子トリプルスチーム」で出場参加。トリプル組の澤田雄孝氏・松本嘉文氏と、大会会場となっている明石公園ローンボウルス場で早速練習をした。ここは人工芝リンクでこれが“しあわせの村”のリンクと大いに違っていた。

大会は1回戦不戦勝、2回戦の対戦相手「明石A」（後の優勝チーム）に大敗を喫した。2回の敗者復活戦も惨敗、人工芝の難しさを思い知らされた。結局初めての他流試合は1不戦勝3敗と無残な結果に終わった。しかし良い経験をしたと思っている。

『第3回SLSローンボウルス大会』（主催グループ“わ”）は11月11日〔土〕秋晴れの日で開催された。先の“良い経験”から1週間後であった。国際交流コース3年から5チームが参加し優勝と3位の成績を修めた。スポーツ実技授業を受けたこともあるが、チームメートの浅野禮子さん・吉田定由さんに恵まれたこと・運が良かったことが勝因と言える。

1週間の短い期間に“連敗の悔しさと”“優勝の喜びと”貴重な経験を味わせてくれた皆さん有難う。SC学園生活の良い思い出になりました。

ローンボウルスは熟年の私たちに最適なスポーツです。
みなさんこれから一緒にローンボウルスをやりませんか！

コーロ KSC からのお知らせ

コーロ KSC の初リサイタル

代表 松本 輝雄（音文3期）

カレッジ混声合唱団「コーロ KSC」が来年2月28日（水）18時から文化ホール・大ホールで初リサイタルを行ないます。このことは神戸市が無料ホール貸し出しのイベントに乗って実現しました。

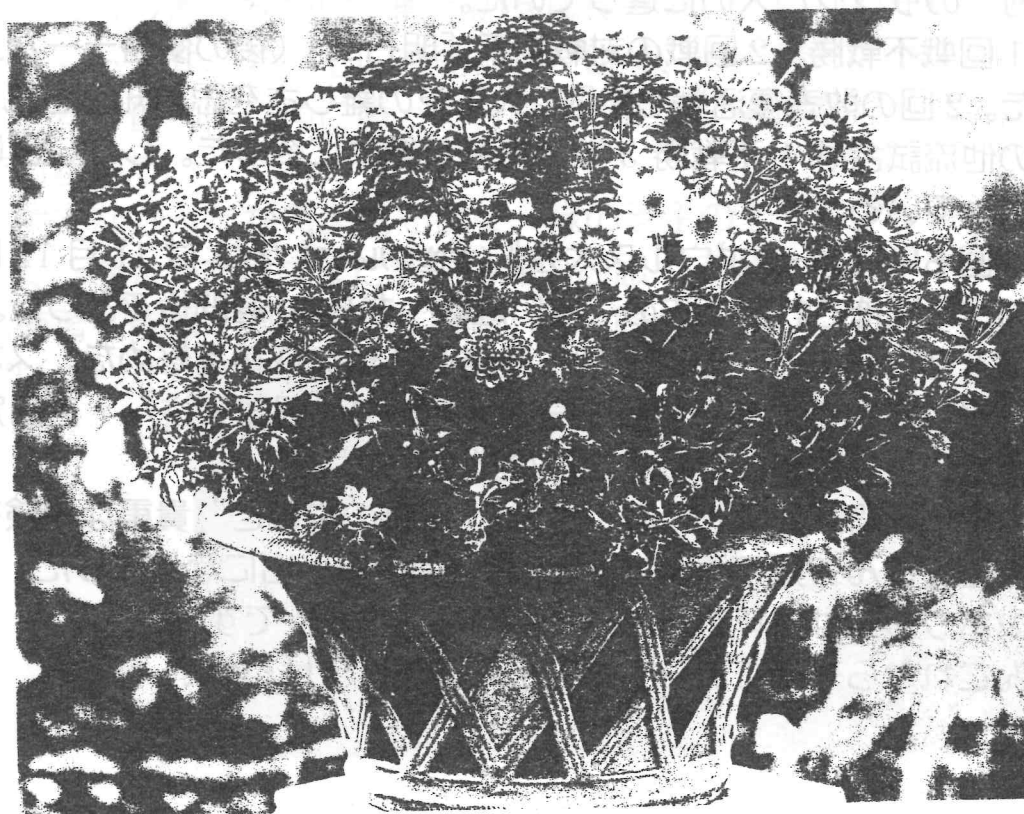
「コーロ KSC」はカレッジ開学と同時の1993年11月に組織されました。阪神淡路大震災の折にカレッジは休校を止むなくされました。私達は避難所に・仮設住宅に慰問に出掛け歌い継いできました。数多くの感謝状を頂くことにもなりました。

いま、社会還元センターグループ“わ”、在校生ボランティアグループのメンバーとして老人施設へ慰問など活動が続けています。

結成以来7年余の歳月、努力を重ね、団員も90名になんなんとする大合唱団となりました。

一昨年度「全国シルバー合唱コンクール」に努力賞、本年度銅賞を受賞。神戸市優秀合唱団出演の荣誉が与えられる「アジサイコンサート」に、2年連続で選出されました。

大ホールは収容人員2000名余のホールです。是非みなさまのご来聴をお願いし、成長しました「コーロ KSC」の混声合唱を楽しんで下さい。そして、ご声援を頂きますようお願いいたします。



“わ”の新しいグループ紹介

楽しくて 面白い 小噺

小噺グループ 藤原 俱子

近頃ではストレス解消に、またガン予防にお笑いが効果大と言われております。ボランティア要望にもお笑いを求められる声が多いのです。しかし対応できる人材がなく残念に思っておりました。

今年 AB 部会の総会に縁あって はつらつ亭ひばりさん を、お招きすることができました。カレッジホールで小噺“南瓜玉すだれ”を、ご披露していただきました。

出席者へのアンケート結果は 小噺など笑いに感心・興味があるの答えが 10 名ほどあり、それらの人たちが集り七夕の 7 月 7 日に会が発足いたしました。

《はつらつ亭ひばりさん》を講師に月 1 回の勉強会を開いております。

まずは早口言葉などの口馴らしから始まります。次に先生のしゃべり手本を聞き取ります。それから一人づつ台本を見ながら喋って行くのです。最初は本をただ読んでいるだけの棒読み状態が、だんだん馴れるにつれて同じ小噺でも、声質・間の取り方・言い廻しなど各人の個性が出てくるもので、これもまた楽しみの一つです。

なによりも“オチ”かあって面白いですね。それに小噺はいつでも・どこでもできるのです。ボランティア活動の合間にチョット小噺を喋る。きっと喜ばれ・楽しい雰囲気生まれるでしょう。

ここで小噺を一席！

主人「ただいま 今晚のおかずはなんかいな」

妻「今夜はうなぎですわ」

主人「あ、そうか」

キ「コンニチワ 大家さーん」

主人「なんや大きな声出して キーコかいな」

キ「表で聞いてますと 今晚のお宅のおかず」

主人「よそのおかずのこと聞き耳たてて心配せんでええ」

キ「うなぎやそうですが そのうなぎ天然物 それとも養殖物？」

主人「そら 養殖物やで」

キ「ほな ナイフとフォークがいりますな」



皆様の入会をお待ちしております。

連絡先：藤原 俱子 【フループ“わ”小噺グループ世話人】

電話・Fax 078-734-5116

日 時：月 1 回 金曜日（不定期）p.m.2:00～p.m.3:30

場 所：神戸福祉交流センター 4F ボランティアルーム

1. カレッジ施設の使用に関する事前届け出について。

カレッジ施設の使用に際しては12月1日から下記の要項に留意して事前に届け出て承認を得てください。

シルバーカレッジの施設使用について

グループ“わ”の会員がシルバーカレッジの施設を使用する時は、次のことを確認の上グループ“わ”事務局に事前に申し出てから、カレッジ事務局に届け出て、許可を得てください。

1、使用目的

ボランティア活動を行うため、また、その準備練習のため。

2、使用時間

- ① 原則として、授業終了後の午後2時45分から。
- ② 午後2時45分以前に使用するグループは、事前に許可を得ているグループのみとする。

3、午後2時45分以前に使用できるグループと本部関係。

- ① 里山クラブ、ケナフの会、木工グループ。
- ② 総会、運営委員会、各委員会、各部会、地区会合。
- ③ その他、事前に申し出て特に許可を得たグループ。

例) ・ボランティアに出掛ける直前の練習(当日限り)
・性質上、午後2時45分からは、活動が終了しないもの。(クッキーの会など)
・その他、特にやむを得ないと認められたもの。

(平成12年12月から施行する)

2. グループ“わ”が所有する物品の貸出について。

最近、“わ”名義の資産に登録された用具等が増えてきました。そこで、“わ”が所有する物品を今後、貸出しする場合は次ページに記載の要領により貸し出しをいたしますので、ご協力をお願いいたします。

物品貸し出し要領

[主旨]

第1条 この要領は神戸シルバーカレッジ社会還元センターの所有する物品の利用について必要な事項を定めるものとする。

[利用者]

第2条 物品の貸し出しを受けることの出来る者は次の通りとする。

- 1) 社会還元センターの会員
- 2) シルバーカレッジの実施する授業責任者

[利用料]

第3条 物品の利用料は無料とする。

[貸し出し]

第4条 物品を貸し出しする場合は、所要の物品貸し出し証に必要事項を記載の上、社会還元センター事務局へ届け出て、貸し出しを受けるものとする。

[返却]

第5条 社会還元センター事務局の確認を得て物品を所定の場所に返却して、物品貸し出し証に返却記録を受けるものとする。

[損害弁償]

第6条 利用者が物品を甚だしく汚損又は紛失した場合は、相当の弁償をしなければならない。

付則

[施行期日]

1、この要領は平成12年9月1日から施行する。

〈 物品貸出証の様式 〉

No. _____

神戸市シルバーカレッジ社会還元センター

物品貸出し証

申込み日	平成	年	月	日 ()
貸出し日	平成	年	月	日 ()
返却予定日	平成	年	月	日 ()
団体名				
借用者氏名				
	種	類	TEL FAX	数 量
貸し出し物品名				
使用目的				
使用場所				
長期貸出し				
保管責任者名				

事務局確認	
返却日	平成 年 月 日 ()
汚損・破損の確認	
確認者氏名	

ハイ!!事務局です

1. 神戸21世紀・復興記念事業参加。

翔け未来へ…!「1000人のゴスペル大合唱(来年1月20日)」に対する練習を1月6日(土)午後に行います。
SCコーラス、その他自由参加。

2. 前記の「1000人のゴスペル大合唱(来年1月20日)」に関する広告については下記広報をご参照ください。

「広報こうべ」…1月10日

「北区広報」……12月15日

在校生へのゴスペルイベントPRは共通授業の開始前に行います。

1年生……11月28日(火)

2年生……12月21日(木)

3年生……12月18日(月)

3. スポーツ用具の購入について

グランドゴルフ用具8ホール48人分を購入いたしました。皆さん、地域でのボランティア活動にご利用ください。

4. グループ“わ”からボランティアのお願い。

『1000人のゴスペル大合唱』の当日にゴスペルを歌う時に布を振ってリズムをとるのに使用し、帰りにお土産として持ち帰っていただくものです。

《連絡先: TEL743-8101 飯井》

5. 学園祭ご協力に対するお礼。

去る10月14日の学園祭における“わ”模擬店(ミスタードーナツ・お茶・ポシッツ・校章・福川の本等)にご協力いただきありがとうございました。

6. 展示用パネルの更新について。

従来イベント時に使用していた各部・各地区の活動状況PR用展示パネルを年内(12月12日まで)に新パネルに改新してください。各部会・地区それぞれ2枚まででお願いします。

7. シンポジウムおよび会議等の開催について。

(1) 2001年2月24日 13:00~17:30

生物多様性保全シンポジウム。

(2) 9月22~24日

全国雑木林会議。

《いずれもカレッジホールにおいて。

当日の会場での運営の手伝いは“わ”で行います。》

後 記

★今回は子供と遊ぶ/児童送迎の苦楽/施設の観月会…等のボランティアを通じての貴重な体験記を寄せて頂きありがとうございました。★コーロKSC 結成以来の練習の成果としての数々の受賞と初リサイタルの輝かしい稿も寄せられました。★来年は早々からいろいろとイベントが計画されています。ふるって参加、盛り上げていきましょう★立冬も過ぎ、日脚(ひあし)も目立って短くなり、いよいよ小雪(しょうせつ)北の国からは初雪の便りが聞かれるようになりました★やがて季節風の荒れる候をむかえます。年末に向けて健康には十分に留意しましょう。